

九州・沖縄地区ニュース

No.116 2018.3

//////////////////// Science Council of Japan //////////////////////

第24期の九州・沖縄地区会議がスタート

日本学術会議 九州・沖縄地区 代表幹事 君塚信夫

九州・沖縄地区の会員、連携会員の皆様には、平素より本地区の学術活動を推進いただき、厚く御礼申し上げます。これまで日本学術会議九州・沖縄地区会議の代表幹事をお勤め戴いた古谷野 潔先生よりバトンを引き継ぎ、10月より第24期の代表幹事を仰せつかりました。微力ながら、地区会議の活動を盛り上げ、有意義なものとなるよう尽力いたしますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

九州・沖縄地区会議には、現在、会員7名、連携会員109名が在籍しています。学術会議はボトムアップ型の組織であり、会員・連携会員が様々な分野の分科会の活動を支えるとともに、地方学術界の振興を促進し、地方創生に貢献することが期待されております。このためには、学術会議が社会へ向けて学術の成果や科学者の意見を積極的に発信するとともに、市民との意見交換を行って地域の課題に対する理解を深め、その解決に貢献することが望まれます。また若い世代と学術・科学に関するコミュニケーションをはかり、高等教育や研究活動のあり方を分析して改善の方向を探るとともに、次世代の学術の担い手・科学者の育成に資することも重要なミッションと言えます。近年におけるICT（情報通信技術）やAI（人工知能）分野の目覚ましい進展、オープンイノベーションの波は、これから社会を担う若手世代のみならず、少子高齢化を迎える日本社会全体に大きな影響をもたらすと考えられます。私たちは常日頃、人文・社会科学、生命科学、理工工学にわたる様々な専門分野で日本の学術・科学の推進を担う立場にありますが、会員、連携会員、さらに地域の研究者、市民が分野を超えてコミュニケーションをとることによって、新しい問題の発見ならびに、その解決の糸口を共有できることが期待されます。ひとりひとりの智を相乗的に深め、また高めあうことによって、九州・沖縄地区から新しい学術や科学の領域が芽生えることも夢ではないでしょう。科学者懇談会・学術講演会は、この推進を担う機会を与えるもので、平成28年度より上半期と下半期の2回開催されています。平成29年度は、それぞれ佐賀大学、長崎大学にお世話いただき開催されました。佐賀市における科学者懇談会には大西会長（当時）、長崎市には武内副会長にお越しいただき、日本学術会議の活動等についてご報告いただいた後、日本学術会議と地区会議のあり方、日本学術会議への容貌、そして地域社会における学術と科学の役割について活発な意見交換がなされました。佐賀市には会員1名、連携会員2名、長崎市には会員3名、連携会員3名の参加をいただくことができました。また学術講演会の方は、お世話役をお願いした佐賀大学、長崎大学のお声がけで、地域の多くの大学を代表する研究者の皆様、一般市民の方々

にご参加いただき、大変有意義な会となりました。ここに深く感謝申し上げます。九州・沖縄地区の学術・科学技術の振興と地域創生に結び付けるためには、会員・連携会員、研究者の皆様による地区会議活動への益々の積極的なご参加とご協力が是非とも必要です。皆様には、引き続き大きなご関心をお寄せくださいますよう、心からお願い申し上げます。

【科学者懇談会の開催】

平成29年8月に佐賀市、平成30年3月に長崎市において科学者懇談会を実施いたしました。

例年2回、その時々学術を取り巻く環境が変わる中、日本学術会議の会員と各地域で研究活動を行っている連携会員や研究者との間で、意見交換や情報共有を行う貴重な場として科学者懇談会を開催しております。

平成30年度の科学者懇談会では、佐賀市には大西会長（当時）、長崎市には武内副会長にお越しいただき日本学術会議の活動等についてご報告いただいた後、日本学術会議への要望やあり方などについて活発な意見交換が行われました。

平成29年度第1回 科学者懇談会

日 時： 平成29年8月24日（木）12:00～13:30

場 所： 佐賀大学本庄キャンパス 理工学部6号館(DC棟)2階 多目的セミナー室 (佐賀県佐賀市)

出席者：

日本学術会議	会長（当時）	大西 隆
	九州・沖縄地区会議 代表幹事	古谷野 潔
	九州・沖縄地区会議 連携会員	木本 雅夫
	九州・沖縄地区会議 連携会員 （佐賀大学理事（研究・社会貢献担当）・副学長）	門出 政則
佐賀大学	学長	宮崎 耕治
	理事（教育・学生担当）・副学長	滝澤 登
	理事（企画・総務担当）・副学長	後藤 昌昭
	学長補佐	寺本 憲功
	学長補佐	田中 宗浩
	芸術地域デザイン学部長	小坂 智子
	経済学部長	中村 博和
	工学系研究科長	渡 孝則
医学部教授	出原 賢治	
西九州大学 西九州大学短期大学部	学長	福元 裕二

九州龍谷短期大学	学長	後藤 明信
放送大学佐賀学習センター	所長	諸泉 俊介



佐賀市で開催した科学者懇談会の様子

平成29年度第2回 科学者懇談会

日 時： 平成30年3月1日（木） 13：00～13：50

場 所： 長崎大学教育学部本館 2階 第5会議室（長崎県長崎市）

出席者：

日本学術会議	副会長	武内 和彦
	九州・沖縄地区会議 代表幹事	君塚 信夫
	九州・沖縄地区会議 会員	谷口 倫一郎
	九州・沖縄地区会議 会員	中村 崇
	九州・沖縄地区会議 連携会員	古谷野 潔
	九州・沖縄地区会議 連携会員 (長崎大学副学長／ダイバーシティ推進センター長)	伊東 昌子
	九州・沖縄地区会議 連携会員 (長崎大学医歯薬学総合研究科長)	尾野村 治
長崎大学	学長	河野 茂
	理事（研究・国際担当）・副学長（研究企画・国際担当）	下川 功
	理事（総務担当）・副学長（計画評価担当）	福永 博俊
	理事（教学担当）・副学長（教務担当）	塚元 和弘
長崎総合科学大学	学長	木下 健
長崎国際大学	副学長	橋本 健夫



長崎市で開催した科学者懇談会の様子

【学術講演会の開催】

平成29年8月24日（木）に佐賀市において、日本学術会議九州・沖縄地区会議主催、佐賀大学の共催で「明治維新150年～幕末・維新时期における佐賀藩の「ひとづくり」「ものづくり」」をテーマにした学術講演会を開催しました。

また、平成30年3月1日（木）には長崎市において、長崎大学の共催で「海の利用と保全への新たな挑戦」と題した学術講演会を開催しました。

「明治維新150年～幕末・維新时期における佐賀藩の「ひとづくり」「ものづくり」」 佐賀大学

日 時：平成29年8月24日（木）14:00～16:10

場 所：佐賀大学本庄キャンパス 理工学部6号館1階講義室（佐賀県佐賀市）

平成29年8月24日（木）に佐賀市において、日本学術会議九州・沖縄地区会議主催、佐賀大学共催により「明治維新150年～幕末・維新时期における佐賀藩の「ひとづくり」「ものづくり」」をテーマにした学術講演会を開催しました。

日本学術会議の大西会長（当時）及び佐賀大学の宮崎学長のご挨拶の後、佐賀大学の三ツ松講師、青木特命教授の2名の先生を講師に迎え、テーマに沿った講演を行っていただきました。

当日は、大学関係者の他一般市民も含め100名以上の参加があり、盛会裏に終了しました。

【各講演のテーマ】

『佐賀藩の教育と明治維新』

佐賀大学地域学歴史文化研究センター 講師 三ツ松 誠

『佐賀藩のモノづくり－科学技術とその思想－』

佐賀大学地域学歴史文化研究センター 特命教授 青木 歳幸



佐賀市で開催した学術講演会の様子

講演会の感想(アンケート調査から抜粋)

50代男性

地元佐賀の歴史がよく分かり興味深く聴講することができた。

50代男性

佐賀藩の「人づくり」「ものづくり」を時系列にわかりやすく話していただきとても勉強になった。

60代男性

貴会の講演会に初めて参加した。九州・沖縄地区各県の巡回制とのことだが、できれば回数を増やして、もっと地方でも受講できる機会をつくって欲しい。
地域文化の向上発展、学術振興につながっていると思う。

「海の利用と保全への新たな挑戦」 長崎大学

日 時：平成30年3月1日（木）14:00～16:10

場 所：長崎大学文教スカイホール（長崎県長崎市）

平成30年3月1日（木）に長崎市において、日本学術会議九州・沖縄地区会議主催、長崎大学共催により「海の利用と保全への新たな挑戦」をテーマにした学術講演会を開催しました。

日本学術会議の武内副会長及び長崎大学の河野学長のご挨拶の後、長崎大学海洋未来イノベーション機構の経塚教授、河邊教授及び西原准教授の3名の先生を講師に迎え、それぞれテーマに沿った講演を行っていただきました。

当日は、大学関係者の他一般市民も含め、約80名の参加があり、盛会裏に終了しました。

【各講演のテーマ】

『潮流発電の現状と今後の課題』

長崎大学海洋未来イノベーション機構 教授 経塚 雄策

『多次元バイオリギングによる魚類の回遊行動研究と海域利用への展開』

長崎大学海洋未来イノベーション機構 教授 河邊 玲

『ブルーカーボンに関する藻場生態系の基礎研究』

長崎大学海洋未来イノベーション機構 准教授 NISHIHARA Gregory Naoki



長崎市で開催した学術講演会の様子

講演会の感想(アンケート調査から抜粋)

50代男性

各講師の方には、最先端の研究を分かりやすく説明いただき情報の整理ができた。

40代男性

海洋資源や海洋環境をどう把握し、利活用するための実証実験やどのようにデータを蓄積していくのかの最新の研究を情報提供していただき、大変勉強になった。

【お知らせ】

日本学術会九州・沖縄地区会議では、平成30年度、以下のとおり学術講演会の開催を予定しております。詳細につきましては、決定次第お知らせいたします。

日時： 平成30年9月10日（月） 14：00～16：15（予定）

場所： 鹿児島大学稲盛会館キミ&ケサメモリアルホール（予定）

日時： 平成30年度 下半期

場所： 熊本市内（未定）

日本学術会議 九州・沖縄地区会議

会員一覧

秋葉 澄伯	（第三部所属	鹿児島大学名誉教授）
巖佐 庸	（第二部所属	九州大学大学院理学研究院教授）
君塚 信夫	（第三部所属	九州大学大学院工学研究院教授）
谷口 倫一郎	（第三部所属	九州大学大学院システム情報科学研究院教授）
土井 政和	（第一部所属	九州大学大学院法学研究院教授）
中村 崇	（第三部所属	東北大学名誉教授）
宮崎 康二	（第二部所属	医療法人聖粒会慈恵病院顧問）

※五十音順

発行 2018年3月

編集 日本学術会議 九州・沖縄地区会議

日本学術会議 九州・沖縄地区会議事務局

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

九州大学研究・産学官連携推進部研究企画課内

電話 092-802-2321（ダイヤルイン）

FAX 092-802-2391

E-mail kissomu@jimukyushu-u.ac.jp